主催：一般社団法人日本翻訳協会　　後援：バベルユニバーシティ

グローバルトランスレータのための リスクマネージメントセミナー

複数の国にまたがって仕事をする際の リスク対策を伝授

2013年8月17日(土)15:00 – 17:00（日本時間）

講師:ハクセヴェル ひろ子

アジェンダ

1. グローバルトランスレータとは？
2. グローバル翻訳業界で仕事を獲得するメリットとデメリット
3. グローバル翻訳業界でのリスクの歴史

ーリーマンショック以前（～2008年）

ーリーマンショック以後（2008年後半～現在）

4. 翻訳者にとって「リスク」とは具体的に何か？

   a. 翻訳会社・発注側の問題

   b. 翻訳者側の問題

   c. 想定外のリスク

   d. その他のリスク

5. 問題のある翻訳会社とは
6. 優良な翻訳会社とは
7. 取引先のポートフォリオの入れ替え
8. 質疑応答

1. グローバルトランスレータとは？

- 海外の多国籍翻訳会社と積極的に取引（Proz.com、Translatorscafe.com の活用）
- 取引で外国語を使用（英語、現地語）
- 翻訳業務に役立つツールを積極的に活用（CATツール、ソーシャルネットワーキング、プライベートFTPなど）
- 海外の Credential（ATA、ITI メンバーシップ）やDiploma（Babel University (USA)、その他の大学/大学院を修了）を保持

2. グローバル翻訳業界で仕事を獲得するメリットとデメリット

＜メリット＞

- 翻訳を必要としている多国籍企業が直接発注するので、最新の情報や知識が得られる、翻訳文書がバラエティに富んでいる
- 特許、医療、工業系を含めて、仕事が海外市場にどんどん流出しているので仕事に困ることがない

＜デメリット＞

- どの翻訳会社を選べばよいかわからない
- 最新のツール（翻訳支援ソフト）、各種文書形式（Word、Excel、PPT、Ini、HTLMなど）を駆使するので、翻訳者自身が新しい技術に乗り遅れないようにしなければならない

3. グローバル翻訳業界でのリスクの歴史

- リーマンショック以前（～2008年）
  → ほとんどが翻訳会社側の問題
  ー低価格
  ー翻訳料の未払い
  ー翻訳の品質（翻訳に対する誤解、発注元が翻訳の品質を理解できない）

- リーマン・ショック以後（2008年後半頃から現在）
  → リスクの多様化

4.「リスク」とは具体的に何か？

＜翻訳会社・発注元の問題＞
ービジネス上のルールを守らない
　→ビジネスマナーの欠落した翻訳会社はリスクを招きやすい
　（Proz.com のBlue Board で確認済み）
ー発注元の文書を添付した一斉メールによる発注
　→秘密保持契約の未締結、秘密文書のばらまき
ー過酷な条件の提示
　→翻訳の質の低下を招いても、翻訳者が責任を取らされる
　→納期の設定の仕方によって、翻訳ビジネスへの理解度が明確になる

＜翻訳者側の問題＞ **翻訳技術があっても、商品価値のある訳文が作成できない**
ー最低限の資料（辞書を含む）を購入しない
ー設備投資（PC、ソフトウェア）を行わない
ー新しい技術（翻訳支援ツールなど）を学ばない
ー翻訳上のルール（スタイルガイド、用語集、タグ、翻訳支援ツール）を守れない
ー誤字脱字が多い

4.「リスク」とは具体的に何か？（続き）

＜想定外のリスク＞

ー翻訳者に対して「キレる」発注元の担当者、翻訳会社のPM、同僚翻訳者
ー家族の問題（例、両親／義両親の健康問題ー入院、介護、葬儀）
ー自身の健康問題（体力的、精神的）
ー世の中の「常識」に反するような案件（例、オンラインカジノ、直接/間接的に犯罪に関連している）

＜その他のリスク＞

ー個人との取引（例、離婚裁判の裁判記録、交通事故の警察調書、事故の裁判記録、出版予定のない本の原稿）
→個人の人生を左右するような問題には責任がとれないため、「私」は原則的に引き受けない

5. 問題のある翻訳会社とは

ー翻訳上の指示があいまい
ー後出しで資料を配布、翻訳終了後に無償で訂正を要求
ー条件の悪い案件を無理やり振ってくる（「このクライアントは
　我が社の大事な顧客だから、引き受けてくれないと困る…」）
ークライアント（発注元）寄りの対応（例、発注元のクレームを
　一方的に信じる）
ー「仕事を回してやっている」という横柄な態度

6. 優良な翻訳会社とは

ー納期、料金、翻訳上の指示、支払日を明示
ー条件の悪い案件を無理やり引き受けさせない
ー緊急時に柔軟な対応をする（他の翻訳者への振り替え、納期の延長など）
ー翻訳者との間に適切な距離感を保っている
ー依頼時に提案された条件に柔軟に対応（内容の難度によって納期延長、用語集の用語の変更など）
ー翻訳物にクレームがついても中立を保つ
（クライアント寄りの対応をしない）

→自分も翻訳会社にとって必要な人材であることが前提

7. 翻訳会社のポートフォリオの入れ替え

－優良会社も時間の経過と共に堕落していくことがある
（Proz.com のBlue Boardで確認済み）

－支払いが遅れ、言い訳をするようになったら要注意

－技術を磨いて、単価の高い優良会社を目指す

8. 質疑応答

- Any Questions?